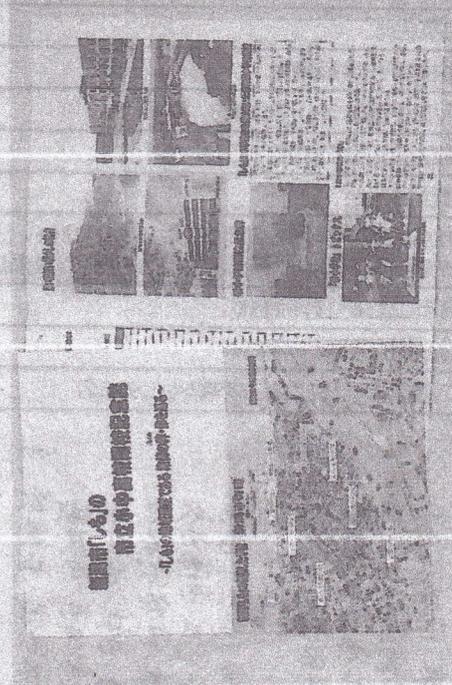


新潟日報 2024年(令和6年)5月17日

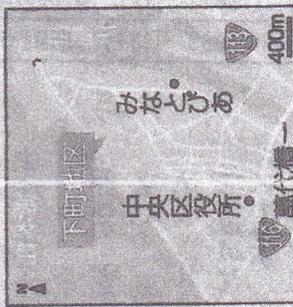
「しも」の学びや歴史たどる

中央区下町地区 住民有志が冊子

冊子は「新潟市『しも』」の中に「しも」と表現する
 の市立小中高校閉校記念 ことばをたどる。
 誌と題し、閉校した小学 下町地区にあつた旧新
 校6校、中学校2校、高校 潟市立工業高の石碑の保
 1校の沿革や校歌、往事の 存活動に取り組んだのをき
 写真などを掲載。また、寺 っかけに、「石碑を残すだ
 町区域、入舟区域などの けではなく、歴史も伝えた
 区域と、今も残る石碑 い」と冊子作成の取り組
 を紹介している。 みが始まった。有志らが半
 冊子では、「下町」を 年ほどかけて地域を歩い
 かつての人々を呼んでいた 石碑を探し、由来などを調



下町の小中高校の歴史や各所の石碑などを紹介する冊子



みなとびる 中央区役所 下町地区 400m

動物、 ている。動物や花を描いた
 作品が中心で、そで山さん
 は「見た人に、明るい気持
 ちになってほしい」と話し
 「ふるまうと作品を鑑賞できること
 がうれしい」と話すそで山がほろそ
 ん 新潟市中央区新島町通3

新潟市中央区の下町地区にかつてあつた小中高校の歩みや、同地区に存在す
 る石碑を紹介する冊子を、住民有志が完成させた。市内でも少子高齢化が進む
 下町地区だが、作成したメンバーは「歴史をたどることで、現状を考えたり、
 興味を持つたりするきっかけにしてほしい」と期待している。

くのは初めてで、「良い機
 会をいただけてうれしい」
 とほほ笑む。
 個展ではアクリル絵の具
 をたっぷり塗った、木製の
 構構けが目を引く。いたず
 らっぽく舌を出した猫、赤
 や黄色の花などで、手作り

べた。
 中心になって取り組んだ
 同高出身の加藤功さん(行)
 北西区)は「小中高と育つ
 た地元のことだったが、調
 べてみると発見が多かつ
 た」と振り返る。

會津八一をはじめとする
 歌碑・句碑が多いほか、漁
 業で財をなした人物の顕彰
 碑など港に関係する石碑も
 目立つたという。

中には風化により刻ま
 れた文字が判読しにくい石
 碑もあり、メンバーは「記
 録を残さなければ何の石
 碑が分からなくなってしまう
 こと、改めて危機感を抱
 いた。

加藤さんによると、下町
 地区には1950年代のビ
 ック時、1万人超の小学生
 がいたという。「新潟大火
 や新潟地震などで人々が西
 区などへ引越す、徐々に
 人口が減っていったように
 思う。寂しいが、当時を知
 る人は冊子を見て思い出
 してほしい」と話す。

A4判、38ページ。40
 0部印刷し、市内の図書館
 などに配布した。冊子希望
 者にも対応する。連絡先は
 加藤さん 090(470
 1) 3910。